

# 令和4年度 明専スクール（第3日目）がオンラインで開催

文責者：一般社団法人 明専会

令和4年11月12日（土）13:00～17:00オンラインにて、令和4年度 明専スクール（第3日目）を開催致しました。就職が内定した学生のうち、各学部・学科から学生40名、講師や運営を支援する大学・明専会会員、明専会事務局等から16名が出席しました。

The screenshot shows a Zoom meeting interface. On the left, a PowerPoint slide titled '日産自動車株式会社' (Nissan Motor Co., Ltd.) is displayed. The slide content includes:

- 企業理念** (Corporate Philosophy): 私たち日産は信頼される企業として、独自性に溢れ、革新的なクルマやサービスを創造し、その目に見える価値を、すべてのステークホルダーに提供します。
- イノベーション事例** (Innovation Case Study): ミニバン「プレラー」
- 特徴** (Features): ・当時大人気移動のワンボックスの利便性を持ち合わせた「ミニバン」を開発
- 構造** (Structure): ・スライドドアとセンターピラーレス構造を採用

On the right, a grid of 18 video feeds shows participants. Visible names include: 147. 福岡 竜弥, 154. 野々上礼央, 163. 岩佐康生, 306. 内堀憲治, 167. 原田隆平, 151. 大城 貴司, 312. 山本ゆよ, 153. 井川 大輔, 310. 浅辺 公彦, 112. 市村 太雅, 309. 久恒正希, 124. 花岡収, 146. 野崎 隼之介, 136. 岩丸直樹, 121. 松本直樹.

The screenshot shows a Zoom meeting with a PowerPoint slide titled '企業のイノベーション例 (1/2): 京セラ' (Innovation Examples (1/2): Kyocera). The slide content includes:

- 企業理念** (Corporate Philosophy): 全従業員の物心両面の幸福を追求すると同時に、人類、社会の進歩発展に貢献すること。
- イノベーション実例** (Innovation Case Study): 太陽光発電事業
- ◆従業員の幸福の追求** (Pursuing Employee Happiness):
  - 京セラフィロソフィ・・・経営理念の実現を目指すための指針
  - アメーバ経営・・・会社の組織を小集団で運営し、自分の仕事の経営への反映状況を把握 → 「仲間のために尽くす」ことを実感でき **モチベーション向上**
- ◆人類社会への貢献の思い** (Thoughts on Contribution to Human Society):
  - 自然、社会、世界との共生の思想を企業活動の基本に置き、SDGsに対する活動を展開。
  - 第一次オイルショック→いち早く太陽電池の研究開発を開始
  - 「世のため、人のため、将来必ず太陽光発電が不可欠になる時代が来る」
  - 信念のもと太陽電池のコストダウンを実現し、太陽光発電システムの普及に尽力。
    - 業界初となる住宅用太陽光発電システムの発売（1993年）。
    - 太陽電池の生産量世界一に（1998年）。

The screenshot shows a large grid of 40 video feeds of participants. Visible names include: 142. 真野航太, 401. 中生美咲, 303. 石橋 一郎, 300. 高原 正雄 (明...), 301. 永松 正博, 304. 木原義幸, 315. 古賀, 314. 小野田真也, 309. 久恒正希, 305. 花本剛士, 307. 植木幹, 310. 浅辺 公彦, 148. 府高仕 一朗, 166. 山口裕登, 311. 吉田達哉 (材...), 116. 石ヶ崎 駿, 市瀬 亮, 151. 大城 貴司, 113. 高丸幹, 312. 山本ゆよ, 161. 林 亮佑, 121. 松本直樹, 117. 石松真伍, 128. 舟橋雅貴, 143. 永木曾也, 167. 原田隆平, 155. 清水美音, 133. 永田 直生, 146. 野崎 隼之介, 111. 津村 宙樹, 163. 岩佐康生, 118. 森本雅也, 112. 市村 太雅, 124. 花岡収, 122. 岩田 拓実, 126. 石破和弥, 131. 田中伶, 162. 森本 裕, 147. 福岡 竜弥, 152. 島知宏, 125. 鶴田拓矢, 306. 内堀憲治, 164. 児玉 道成, 145. 横山 修造, 137. 福島宇浩, 136. 岩丸直樹, 154. 野々上礼央, 135. 志岐 優介.

10/29 (土) 明専スクール2日目のスケジュールは次の通りでした。

13:00～13:05 オリエンテーション (植木 幹 さん [電H1・TOTO] )

13:05～13:25 グループ討議 最終調整

(内堀憲治さん[電61・本田技研工業]、久恒正希さん[電子H4・安川電機]  
吉田達哉さん[物材H6・日本製鉄]、  
山本結代さん[電計H6・ソニーセミコンダクタソリューションズ]、  
小野田真也さん[情知H12・日立ソリューションズ西日本]、  
古賀稔さん[情子H13・安川電機]、財前智行さん[電子コR2・TOTO] )

13:25～15:45 グループ討議 報告

15:45～15:55 休憩

15:55～16:15 振り返り

16:15～16:25 休憩

16:25～16:45 明専会への案内



明専スクール (第3日目) は「グループ討議の最終発表」が主な活動内容となりました。

10/15の明専スクール1日目開催から約1か月、どの班も研究や卒論・修論作成、部活動やアルバイトなどの忙しい間を縫って、何度も議論を重ね、準備してきました。最終発表では10分間という持ち時間の中で、代表者が各班のまとめや思い、考えを発表しました。また、発表後の質疑応答では他の班の受講生やスタッフから鋭い質問が飛び交いましたが、そんな中でも班員で助け合い、協力して回答している姿がとても印象的でした。

来年4月からはいよいよ社会人としてそれぞれの就職先で働く事になります。今回の明専スクールで得られた経験を糧に、自信を持って色々な事にチャレンジしてほしいと思います。そして、何か行き詰ったことがあった時には遠慮なく明専会や九工大の先輩を頼ってほしいと思います。また皆様にお会いできる日を楽しみにしています。

追伸：明専スクールは今年で11回目を迎えました。毎年、受講生のみならず、講師やスタッフからもとても実践的なプログラムになっていると好評を得ています。

来年の明専スクールは、ぜひ明専会会員の多くの方にも実際にご覧頂きたいと思います。